

第6表

インバランス等収支計算書

2024年4月 1日から
2025年3月31日まで

(単位 百万円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
営業費用	109,623	営業収益	113,384
地帯間購入電源費	39,077	地帯間販売電源料	33,117
(インバランス対応取引費用)	16,769	(インバランス対応取引収益)	19,990
(インバランスネットティング費用)	12,023	(インバランスネットティング収益)	4,945
(広域運用調整電力量に係る費用)	10,284	(広域運用調整電力量に係る収益)	8,181
他社購入電源費	77,787	他社販売電源料	22,911
(インバランス対応取引費用)	33,034	(インバランス対応取引収益)	8,272
(インバランスの買取りに係る費用)	31,009	(追加供給電力量に係る収益)	-
(追加供給電力量に係る費用)	-	(追加供給力に係る収益)	-
(追加供給力に係る費用)	-	託送収益	44,669
社内取引費用	△ 7,242	接続供給託送収益	44,669
(インバランス対応相当額取引費用)	0	(インバランスの供給に係る収益)	44,669
(インバランスの買取相当額取引費用)	△ 7,242	(インバランスリスク料に係る収益)	731
		(インバランス調整に係る収益)	-
		社内取引収益	12,686
		(インバランス対応相当額取引収益)	△0
		(インバランスの供給相当額取引収益)	12,687
		(インバランスリスク料相当額取引収益)	74
特別損失	-	特別利益	-
(インバランス調整に係る費用)	-	(インバランス調整に係る収益)	-
インバランス等取引利益(インバランス等取引損失)	3,761		

- (注) 1 インバランス等収支計算書におけるインバランスの供給に係る電力量は4,633百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は3,680百万kWhである。
- 2 他社購入電源費のうち、インバランス対応取引費用には過去のインバランス誤算定に伴う補正額△44百万円(262百万kWh)を含む。
社内取引費用のうち、インバランス対応相当額取引費用には過去のインバランス誤算定に伴う補正額0.4百万円(0.1百万kWh)を含む。
社内取引費用のうち、インバランスの買取相当額取引費用には過去のインバランス誤算定に伴う補正額9,779百万円(△900百万kWh)を含む。
他社販売電源料のうち、インバランス対応取引収益には過去のインバランス誤算定に伴う補正額△5,714百万円(△1,109百万kWh)を含む。
社内取引収益のうち、インバランス対応相当額取引収益には過去のインバランス誤算定に伴う補正額△0.4百万円(△0.1百万kWh)を含む。
社内取引収益のうち、インバランスの供給相当額取引収益には過去のインバランス誤算定に伴う補正額3,053百万円(286百万kWh)を含む。
- 3 財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は見積値により計上している。
なお、2024年度における確定額は、営業費用110,404百万円(地帯間購入電源費39,077百万円、他社購入電源費78,569百万円、社内取引費用△7,242百万円)及び営業収益112,874百万円(地帯間販売電源料33,117百万円、他社販売電源料22,911百万円、託送収益44,158百万円、社内取引収益12,686百万円)である。
また、2024年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は4,596百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は3,741百万kWhである。
- 4 インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。
- 5 インバランスに係る債権の貸倒損及び貸倒損引当から貸倒損引当戻入を控除した額は、△13百万円(引当額:税込債権額を基に算定)である。